

# 町立病院の役割と健康づくりをどう考える

## 町長 地域医療を守り健康を保持増進する取り組みを



奥山勝吉議員

**病院の地方公営企業法全部適用における職員待遇は**

**奥山**

企業の経営状況を反映した給与決定が可能となるということは、働く職員へのしわ寄せが懸念されるが、その対応を問う。

**病院事務局長**

給与に関する規定等を制定し町職員に準じた給料表を採用している。今後も経営の効率化の観点から健全経営を進めていく。

**外来の待ち時間の利用の取り組みは**

**奥山**

待ち時間を健康推進や隠れた病気のセルフチェックなどに有効に使うため、待ち時間における健康推進指導と啓発にどのように取り組むのか。

**病院事務局長**

診療日及び診療科目によって待ち時間に差があるが、待ち時間に健康情報等を

提供することは可能である。

**健康福祉課長**

病院の考え方と連動した健康情報の提供などを検討する。

**医師不足の対応をどう考えるか**

**奥山**

山形県のドクターバシクや県の奨学金制度のほか、町として努力する部分をどのように考えているのか。

**副町長**

確かに医師不足は深刻な状況である。



病院待ち合い室

基本的には県の医師確保対策と連動していきたい。また、人脈なども使いながら病院院長と一体となって医師の確保に努める。

**看護師不足の対応をどうするのか**

**奥山**

看護師不足が問題になってきているが、その対策についてはどうか。

**病院事務局長**

奨学金制度を10人が利用して町立病院で働いていただいている。年度あたり1人の奨学生となっているが、制度の周知なども行いながら看護師の確保に努めたい。

**がん対策をどう考えるか**

**奥山**

がん罹患の不安に起因する未検診対策をどう考えるか。

**健康福祉課長**

医療技術、医療機器の発達などにより、がん治療は進歩している。早期発見にむけた受診の啓発に積極的に取り組みたい。

**町長**

町立病院は地域医療を守る砦である。町民の健康への意識を高め、自分に合った健康づくりの方針を見つけ、楽しみながら健康を保持増進していく取り組みを促進する必要がある。